

オミクロン株
対応ワクチン
接種開始

3～5回目はオミクロン株対応 ワクチンでの接種に切り替わりました



市では、9月26日からオミクロン株対応ワクチン[オミクロン株(BA.1)と従来株に対応した2価ワクチン]を使用した接種を開始しました。初回接種(1・2回目接種)を完了した12歳以上の全ての方が対象です。対象者には予約可能な時期に通知を送付します。

なお、オミクロン株対応ワクチンでの接種は、現時点では1人につき1回の接種となります。また、4回目接種済みの方の5回目接種については、国の方針が示され次第、随時お知らせします。

※ワクチン接種に関する最新の情報は、市ホームページでもお知らせしています

1 オミクロン株対応ワクチン接種(12歳以上の人の3～5回目接種)[10月7日時点]

◆対象者・接種開始時期

9月26日以降に実施する12歳以上の人の3～5回目接種では、オミクロン株対応ワクチンを使用しています。前回接種日から5カ月以上経過した人が接種可能です。

オミクロン株対応ワクチンを使用した接種

◆接種券一体型予診票などの発送時期

■3・4回目接種用の「接種券一体型予診票」などを9月までに送付されているが、その回の接種を受けずにいる人

現在お持ちの接種券一体型予診票を今後のオミクロン株対応ワクチン接種に使用できます。

■4回目の「接種券一体型予診票」が9月までに送付されていない人のうち、5月31日ま

◆予約・接種開始時期(下表に①～③の接種時期の目安を記載しています)

① 4回目未接種者(※1)、60歳以上の3回目未接種者

9月末までに「接種券一体型予診票」を送付しています。17ページに記載の「4 | ワクチン接種の予約方法」により予約してください。

② 3・4回目未接種者のうち、社会機能を維持するために必要な事業の従事者など[市独自優先接種対象者(※2)]

対象となる事業所には、個別に通知を送付しています。

◆オミクロン株対応ワクチンの接種時期の目安

対象者	時期	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬
① 4回目未接種者(※1) 60歳以上の3回目未接種者		接種開始			
② 3・4回目未接種者のうち市独自優先接種対象者(※2)		接種開始			
③ 上記以外の3・4回目未接種者				接種開始(予約は年齢の高い人から順次案内開始)	
1・2回目未接種者		従来型のファイザー社ワクチン・従来型の武田社(ノババックス)ワクチン これまでに引き続き接種可能			

※1…60歳以上の人、基礎疾患を有する人など

は、前回接種日から5カ月以上経過した人のうち、国の示す下記表の優先順位で、重症化リスクが高い60歳以上の人や基礎疾患のある人などの4回目未接種者、60歳以上の3回目未接種者から順次進めます。

すでに前回接種を終えた人

10月3日・11日の2回に分けて「接種券一体型予診票」を一齐送付しました。

■6月1日以降に前回接種を終えた人、3回目の「接種券一体型予診票」がまだ送付されていない人

順次「接種券一体型予診票」を送付します。

③ ①②以外の3・4回目未接種者

これから接種券一体型予診票が送付される人またはすでに接種券一体型予診票が送付されている3回目未接種の12～59歳の人です。予約可能な時期に応じて、「接種券一体型予診票」とは別に、予約方法などを記載した「オミクロン株対応ワクチン接種のお知らせ」を年齢の高い人から段階的に送付します。「オミクロン株対応ワクチン接種のお知らせ」が届いた人から、17ページに記載の「4 | ワクチン接種の予約方法」により予約してください。

【問い合わせ】本館総務課(☎41-3506)



▲花巻空襲50周年記念像「やすらぎの像」(花巻駅前)

大迫小学校5年 梅津結愛さん
講座に参加して、現実とは思えない映像を目にして、地獄とはこのことかと目をふせてしまった。原爆が投下された時にできた雲のことを「きのこ雲」ということ、広島では一度の爆発で14万人の人が亡くなったというのを初めて知っておどろいた。さらに、戦争が終わっても、放射線の影響で長年人々が苦しんで、悲しんでいることも初めて知った。学習会では、花巻にも爆弾が落ちていたことを学んだ。学習会が終わってから、花巻駅にある平和の像を実際に見に行ってみた。像にある女の人や鳥や花を見て、「確かに平和ってこんな感じだな」と感じた。今の生活が当たり前だと思っていたけれど、戦争をしている国もあるから、平和って大事だなと思った。だから、これから自分たちにできることは全部やってみたいと思った。



▲花巻空襲上空写真。写真中央の煙が上がっているのは豊沢町周辺(アメリカ国立公文書館所蔵)

石鳥谷小学校6年 木村勇飛さん
ぼくはあまり広島原爆には興味がありませんでしたが、この講座で興味をもつことができました。一番心に残ったのは、今でも残留放射線で苦しんでいる人がいることです。原爆が落とされたから37年も苦しんでいて悲しいと思いました。花巻にも爆弾が落とされたことにもおどろきました。ぼくがすごいと思ったことは、生首や体が落ちていても、それにかまわず看護師さんが治療していたことです。ぼくだったら腰を抜かして気絶していると思います。現在は世界は12、705発の核を持っていきます。核を落とすのも何もないことがあります。もううくりかえしてほしくありません。また機会があったら参加したいです。



▲花巻空襲の爆弾で崩壊した跡が残る花川橋(花城町の欄干)

八幡小学校6年 佐々木瑠和さん
今年で、戦後77年です。広島に原爆がおちたのは、1945年8月6日の午前8時です。その一瞬でたくさんの方が亡くなりました。経験した人が書いた絵は、血だらけで皮膚がはがれていて人のすがたをしていないように本当に大変だったんだなと思います。私が一番怖いと思ったのは、放射線です。症状はすぐには、耳、口、鼻から血がでて亡くなったという絵を見て、本当に苦しかったということが伝わりました。広島や長崎以外にも花巻も空襲があったことも知りました。爆弾の破片をさわりました。鋭い所が少し痛かったです。鋭い所が人にあたったら一溜りもないなと思いました。



▲花巻空襲の爆弾の破片(花巻市博物館所蔵)

八重畑小学校6年 勝沼颯人さん
ぼくは、この講演会で戦争と核兵器のおそろしさを学びました。学んだことの中でおどろいたことがあります。一つ目は、広島を焼く野原にした爆弾の威力が50分の1に設定されていたことです。二つ目は、この爆弾の表面温度が太陽より熱いことです。また、学んだこと思ったことが二つあります。一つ目は当時の日本の技術が外国におくれていることです。外国はレーダーなのに日本は耳でも不利だと思いました。二つ目は現在世界にある核兵器が13,000発もあることです。今は、ロシアがともあぶない状況なので平和であってほしいです。今回の講演会では、今ぼくたちが住んでいる花巻の空襲のことも学びました。爆風で飛んできた建物の破へんを実際にさわらせてもらうなどの貴重な体験をすることができました。

東和小学校6年 太田昊さん
私は今まで、戦争がどこか遠い世界のことに感じてしまっていました。初めて被害者の話を聞いて、戦争について知ることができ、私を感じたことは、怒りです。それは、人々の幸せな暮らしと平和をこわした戦争、核兵器への怒りです。争い事を、「戦争」で解決しようとし、関係のない民間人へも攻撃することはまちがっていると思います。私は学習会を終えて、戦争、核兵器に対して、自分の思いを持つことができました。被爆者の言葉には、とても大きな力が感じられました。戦争をもう二度とてはいけないという考えと、今回私が感じた戦争への怒りを忘れずに、どうすれば戦争がなくなるのかをこれからも考えていきたいと思っています。

ほかに参加した児童の感想文は広報はなまき11月1日号に掲載を予定しています